

天文宇宙検定2級公式テキスト2019年～2020年版 正誤表			
頁	箇所	誤	正
19	Question 6	(問題文4～5行目) 太陽質量 (= 2×10^{30} kg)	(問題4～5行目) 太陽質量 (= 2×10^{30} kg)
19	Question 10	(選択肢) ③ 5千万年 ④ 50億年	(選択肢) ③ 500万年 ④ 5千万年
20	Answer 10	(正 答) ① 5千年	(正 答) ③ 500万年
40	傍注 ▶第2法則	<p>◎第2法則 図表3-4において、A、C、Eにおける惑星-太陽間の距離をそれぞれ r_1、r_2、r_3 とし、その距離での公転速度をそれぞれ v_1、v_2、v_3 とすると、面積SAB、SCD、SEFは次のように表せる。 $\frac{1}{2}r_1v_1 = \frac{1}{2}r_2v_2 = \frac{1}{2}r_3v_3$ 単位時間あたりに惑星が描く面積なので、それぞれほぼ三角形の面積に等しいと考えるとわかりやすい。ケプラーの3つの法則は、惑星と衛星（あるいは人工衛星）の間でも成り立つ。</p>	<p>◎第2法則 図表3-4において、ある一定の時間内に、Aの位置の惑星はBの位置に、Cの位置の惑星はEの位置に、Eの位置の惑星はFの位置に移動したとする。そのとき、太陽と惑星を結ぶ線分が描く面積SAB、SCD、SEFが常に等しくなるように惑星は運動する。これがケプラーの第2法則である。なお、ケプラーの3つの法則は、惑星と衛星（あるいは人工衛星）の間でも成り立つ。</p>
55	傍注5行目	▶ 白光色 と単色光	▶ 白色光 と単色光
111	本文3行目	である。 清明 は、	である。 晴明 は、
148	おまけコラム 7行目の数式 11行目の数式	$T = \left[(1 - A) \frac{L_*}{16\pi\sigma T^4} \right]^{1/4}$ <p>と表すことができる。この温度が273 K(0℃)から373 K(100℃)の範囲がハビタブルゾーンとなる。上の式を逆に解いて、</p> $r = \left[(1 - A) \frac{L_*}{16\pi\sigma T^4} \right]^{1/4}$	$T = \left[(1 - A) \frac{L_*}{16\pi\sigma r^2} \right]^{1/4}$ <p>と表すことができる。この温度が273 K(0℃)から373 K(100℃)の範囲がハビタブルゾーンとなる。上の式を逆に解いて、</p> $r = \left[(1 - A) \frac{L_*}{16\pi\sigma T^4} \right]^{1/2}$